

調査実績（シーズ・ニーズ調査）

No. 1	H12～16年度	調査名： 研究シーズ調査	予算額
目的	最も新しい研究成果を収集する。可能なものについては特許出願する。		
調査対象	大学ほかの試験研究機関の研究者		
調査方法	研究者を訪問し、研究状況を聴取するとともに、「研究成果調査票」に記入を依頼し、回収する。		
調査の成果	シーズ収集数 1,040 件（一次情報）		

No. 2	H12～16年度	調査名： 企業ニーズ調査	予算額
目的	育成試験ほかの育成・実用化を計画している課題に関連する企業、産学連携に相応しい開発計画をもっている企業のほか、財団に接触があった企業などから企業の開発ニーズを調査する。		
調査対象	上記の企業		
調査方法	上記のとおり		
調査の成果	ニーズ収集数 133 件（一次情報）		

注：「ネットワーク構築型」実施時の平成 11 年度に大掛かりな企業調査を実施し、訪問した企業 64 社から 45 件の技術課題を得ている。

No. 3	H13 年度	調査名： MEMS（マイクロマシン）技術に関するアンケート調査及び実地調査	予算額
目的	県内の半導体、光、微細加工関連及びそれを支える生産技術を駆使した製品・部品を生産している企業やこれから MEMS 分野に指向していくと思われる企業を対象にアンケート調査及び結果に基づく実地調査を行い、今後のコーディネート活動の参考にする。		
調査対象	アンケート対象 120 社、実地調査 12 社		
調査方法	郵送によるアンケート調査及びヒアリング調査		
調査の成果	実地調査を行った企業については、そのニーズを大学等研究者に技術相談として斡旋、技術指導を得た。また、MEMS 技術に興味をもつ企業の参加による「マイクロ・ナノ技術研究会」を立ち上げた。		